

佐倉市の介護保険事業の特徴（令和 6 年度）

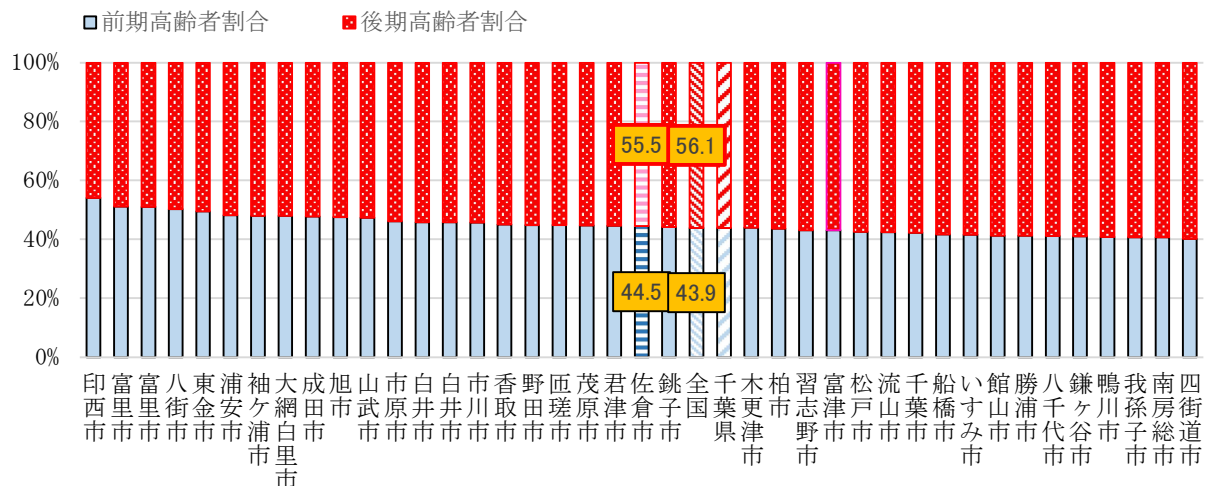
厚生労働省の地域包括ケア「見える化」システム (<http://mieruka.mhlw.go.jp/>) を用いて、佐倉市の介護保険に関するデータを把握・分析しました。

1. 人口及び世帯

①高齢化率及び前期・後期別高齢者割合

佐倉市の高齢化率は、全国・千葉県と比較して高い状況であり、また、年々割合が高まる傾向となっています。

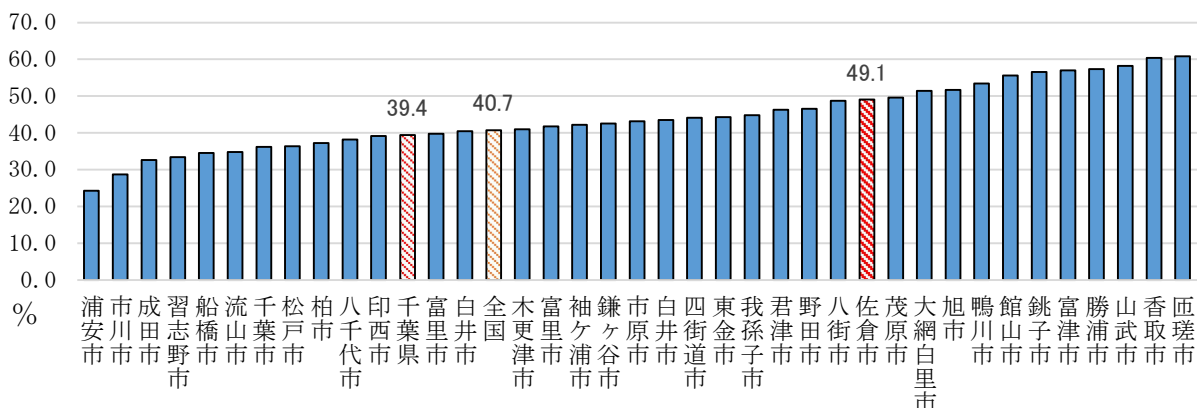
	佐倉市	千葉県	全国
高齢化率（％）	33.7	27.8	29.0
前期高齢者（65 歳以上 75 歳未満）割合（％）	44.5	43.9	43.9
後期高齢者（75 歳以上）割合（％）	55.5	56.1	56.1



出典：厚生労働省 「見える化」システム A2. 高齢化率、A3-a. 前期・後期別高齢者割合 令和 5 年（2023 年）時点

②高齢者を含む世帯の割合

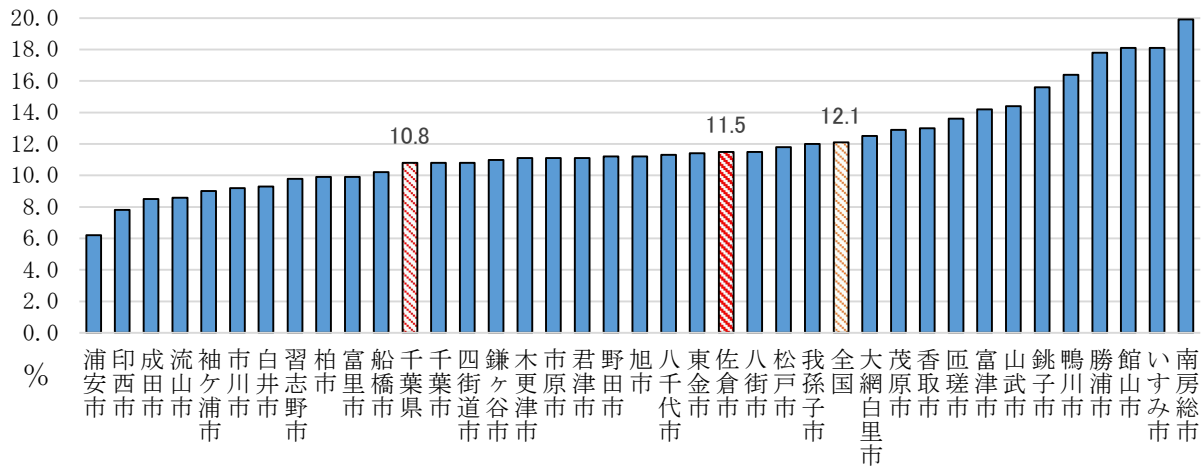
佐倉市は、全国・千葉県と比較して、高齢者を含む世帯の割合が高い傾向となっています。



出典：厚生労働省 「見える化」システム A6-a. 高齢者を含む世帯の割合 令和 2 年（2020 年）時点

③高齢者独居世帯の割合

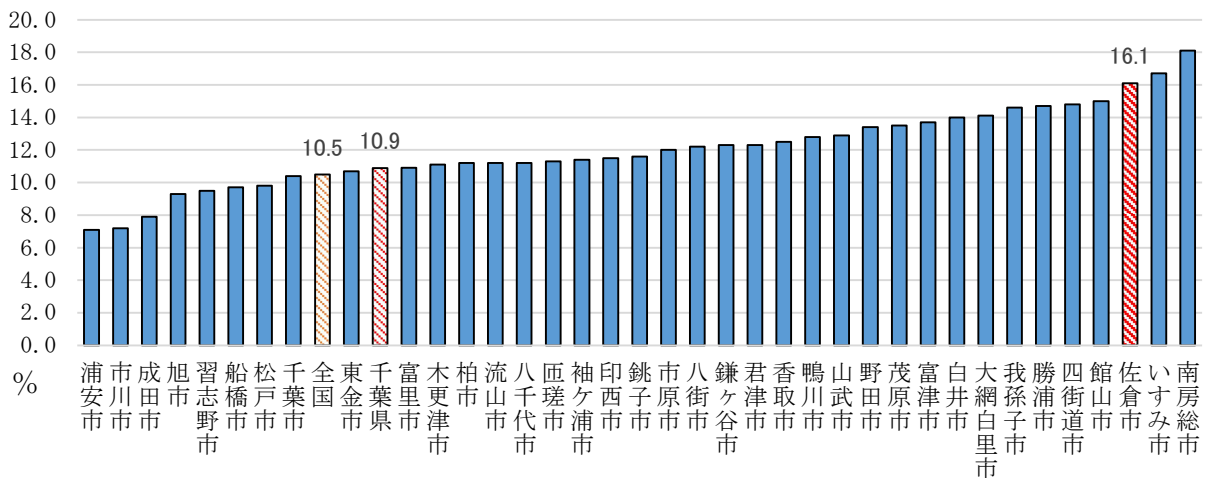
佐倉市の高齢者独居世帯数は 8,046 世帯です。前回の国勢調査から高齢者独居世帯の割合が高くなっています。



出典：厚生労働省 見える化「システム」 A7-a. 高齢独居世帯の割合 令和2年（2020年）時点

④高齢者夫婦世帯の割合

佐倉市の高齢者夫婦世帯数は 11,296 世帯です。千葉県内の中でも、高齢者夫婦世帯の割合は高い傾向となっています。



出典：厚生労働省 見える化「システム」 A8-a. 高齢夫婦世帯の割合 令和2年（2020年）時点

考察

高齢化率は、全国や千葉県平均よりも高く、また、令和3年度以降は、後期高齢者（75歳以上）の割合が前期高齢者（65歳以上74歳未満）の割合を逆転し、高くなっています。

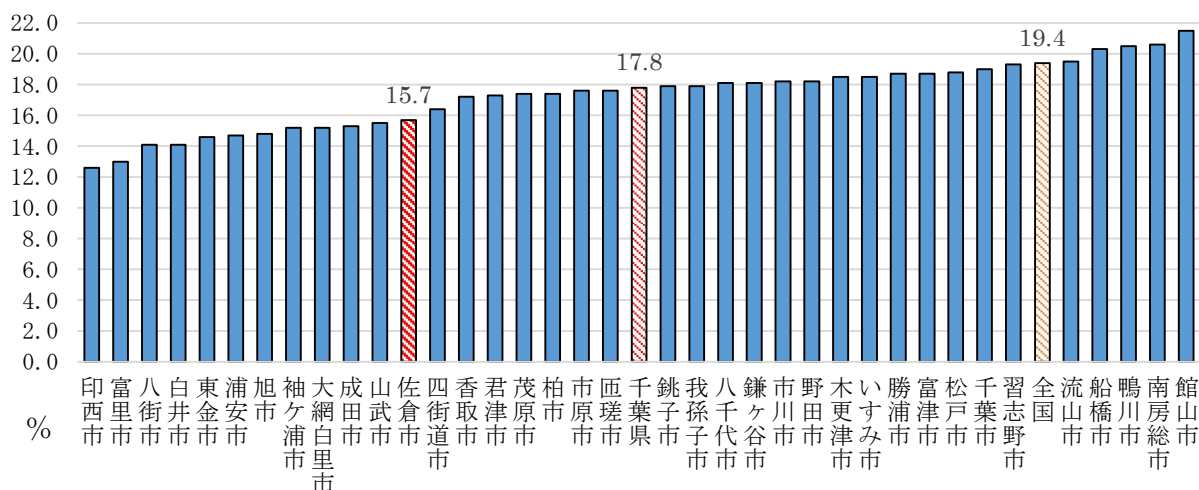
また、高齢者独居世帯の割合は高く推移し、高齢者夫婦世帯などの高齢者を含む世帯の割合も多い状況といえます。

2. 認定

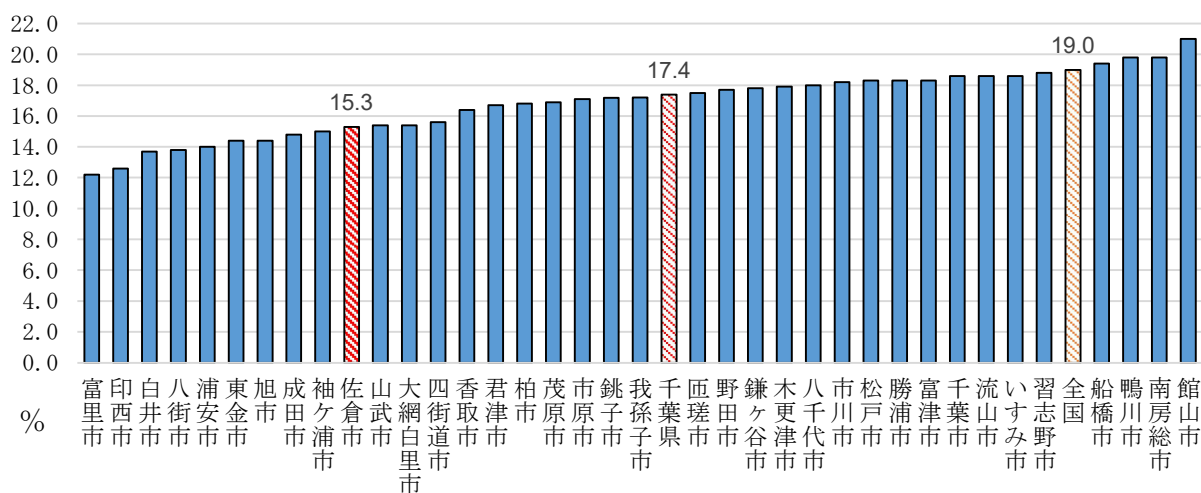
①要介護（要支援）認定率

認定率は、全国・千葉県と比較して低い傾向となっています。令和5年度における佐倉市の認定率は、令和4年度と比較すると0.4ポイント上昇しています。

	佐倉市	千葉県	全国
認定率（％） 令和5年（2023年）時点	15.7	17.8	19.4
認定率（％） 令和4年（2022年）時点	15.3	17.4	19.0



出典：厚生労働省「見える化」システム B4-a. 認定率 令和5年（2023年）時点

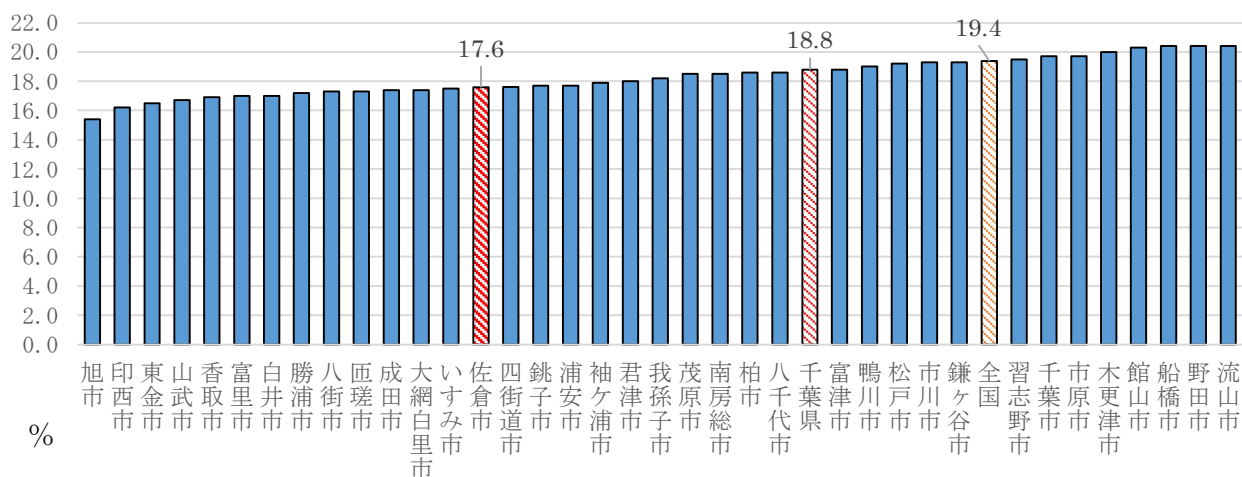


出典：厚生労働省「見える化」システム B4-a. 認定率 令和4年（2022年）時点

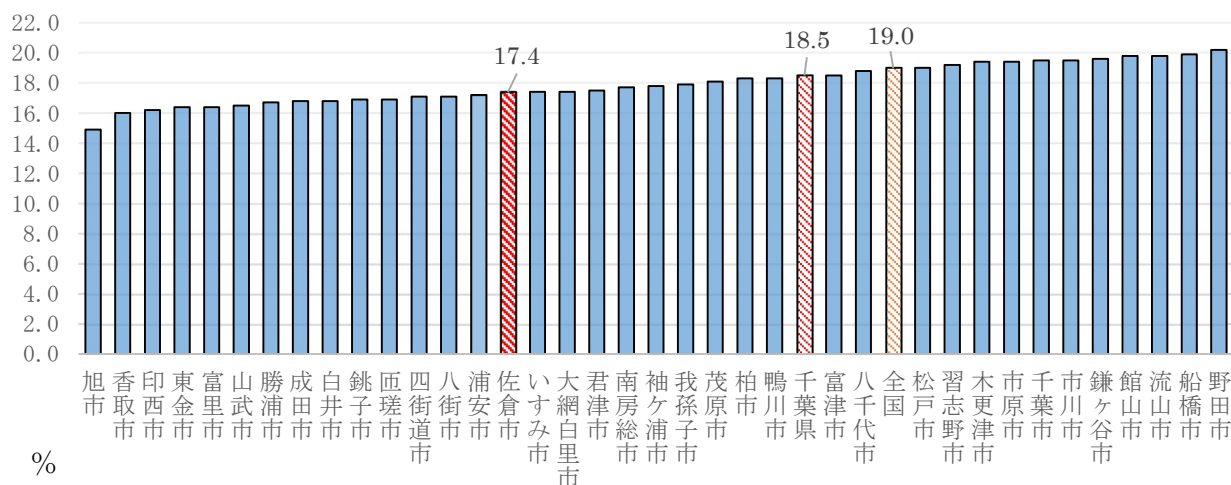
②調整済み要介護（要支援）認定率

一般的に、後期高齢者の認定率は前期高齢者のそれよりも高くなることがわかっていますので、大きな影響を及ぼす、「第1号被保険者の性・年齢構成」の影響を除外した認定率である調整済み認定率を用いて比較します。

調整済み認定率も、全国・千葉県と比較して低い傾向となっていますが、令和4年度に比べ、令和5年度は0.2ポイント上昇しています。



出典：厚生労働省「見える化」システム B5-a. 調整済み認定率 令和5年（2023年）時点

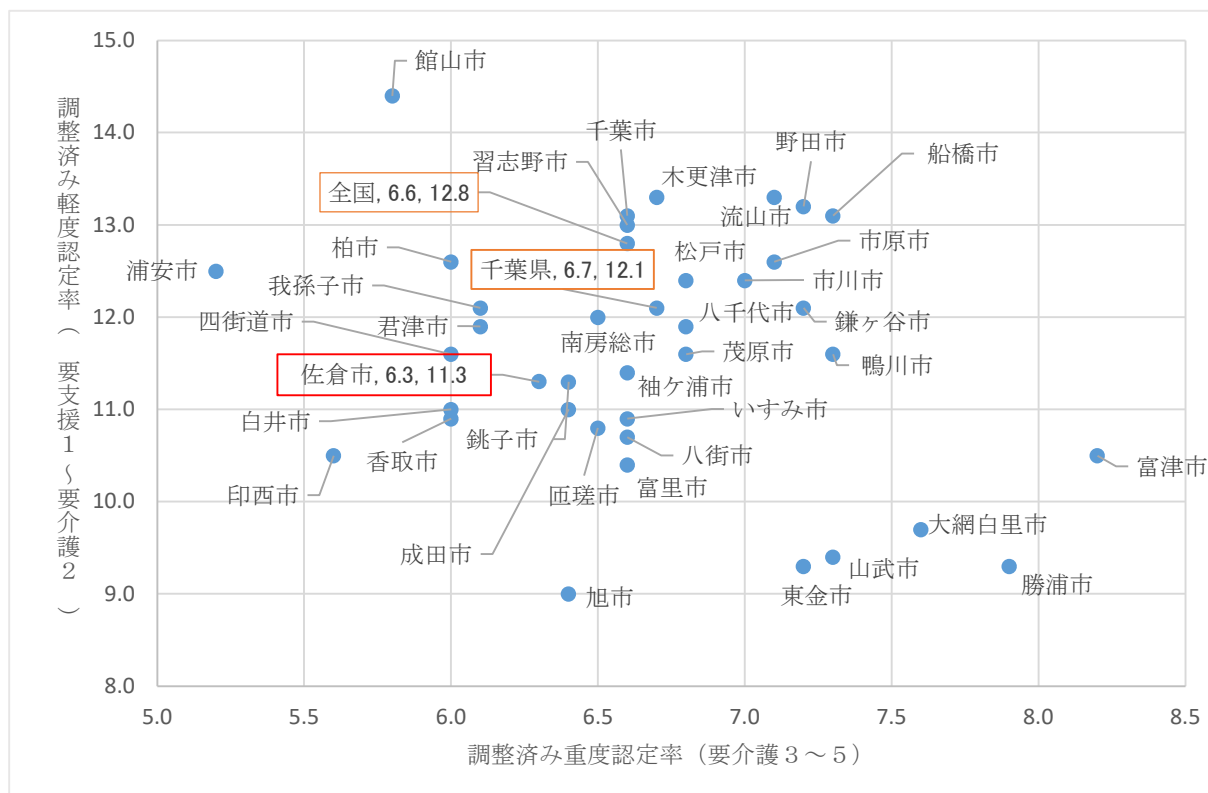


出典：厚生労働省「見える化」システム B5-a. 調整済み認定率 令和4年（2022年）時点

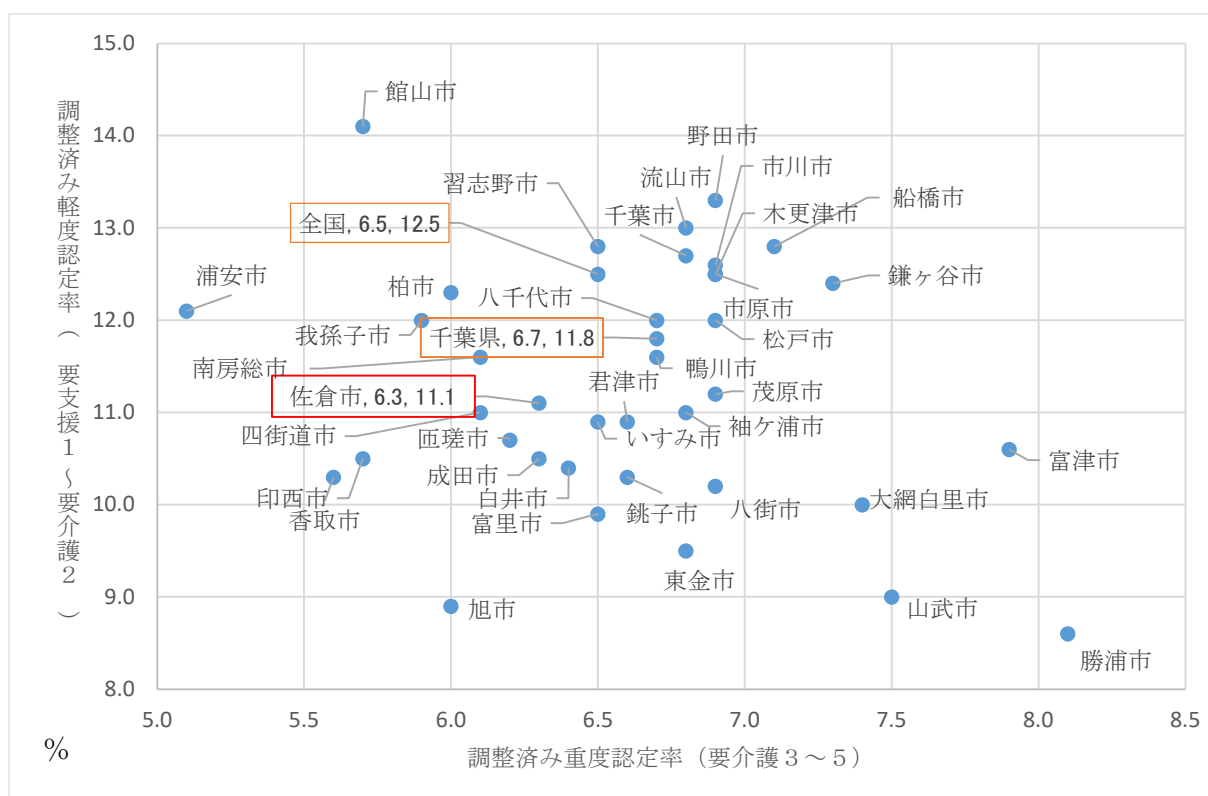
③調整済み重度認定率・軽度認定率の分布

横軸の「重度認定率」は、要介護3以上の認定者の人数を第1号被保険者の人数で除した値、縦軸の「軽度認定率」は、要支援1～要介護2の認定者の人数を第1号被保険者の人数で除した値を表しています。

調整済みの重度調整済み認定率及び軽度認定率も、全国・千葉県と比較して低い傾向となっています。



出典：厚生労働省「見える化」システム B6. 調整济重度認定率と調整济軽度認定率の分布 令和5年（2023年）時点



出典：厚生労働省「見える化」システム B6. 調整济重度認定率と調整济軽度認定率の分布 令和4年（2022年）時点

考察

佐倉市の認定率は、県内では３７市中１２番目（前年度は１０番目）に低いものです。しかしながら、後期高齢者の比率が高くなってきたことにより、認定率の数値そのものも高くなっており、佐倉市だけでなく千葉県全体でも同様の傾向が見られています。

県内で相対的に認定率が低い要因については、市の介護予防活動への取り組みや、個々の高齢者の積極的な社会参加や就労状況、居住環境等の要因が複合的に重なった結果と推察されます。

一方、調整済み認定率についても従前と同様、軽度者認定率、重度者認定率ともに県内で比較的低位を示しています。

印旛地域の市の認定率が押し並べて比較的低位であることを踏まえると、世帯構成や運動習慣等についても広域的に共通する傾向があると考えられます。

3. 費用額

第1号被保険者1人あたりの1月あたり費用額

費用額は、各サービスとも年々増加していますが、佐倉市は、全国・千葉県と比較して、第1号被保険者1人あたりの1月あたり費用額が低い傾向にあります。

		令和3年度	令和4年度	令和5年度※
費用額 (円)		12,721,143,826	13,374,868,024	14,075,664,015
	費用額 (在宅サービス)	6,166,147,202	6,551,328,727	6,964,993,650
	費用額 (居住系サービス)	1,672,676,454	1,771,981,359	1,841,408,691
	費用額 (施設サービス)	4,882,320,170	5,051,557,938	5,269,261,674
被保険者1人1月あたり費用額 (円)	佐倉市	18,234.4	19,063.1	20,838.5
	千葉県	21,659.4	22,255.6	24,424.4
	全国	25,136.9	25,471.0	27,231.3

出典：厚生労働省「見える化」システム P3_介護費用額の推移

令和3・4年度：介護保険事業状況報告（年報）

※令和5年度：介護保険事業状況報告（月報）の12か月累計（令和6年2月サービス提供分まで）

「在宅サービス」「居住系サービス」「施設サービス」とは、以下のサービスを意味します。

- 在宅サービス…訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、居宅療養管理指導、通所介護、通所リハビリテーション、短期入所生活介護、短期入所療養介護（介護老人保健施設）、短期入所療養介護（介護療養型医療施設等）、短期入所療養介護（介護医療院）、福祉用具貸与、福祉用具購入費、住宅改修費、介護予防支援・居宅介護支援、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、夜間対応型訪問介護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護、地域密着型通所介護
- 居住系サービス…特定施設入居者生活介護、認知症対応型共同生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護
- 施設サービス…介護老人福祉施設、地域密着型介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護医療院

考察

佐倉市全体のサービスにかかる介護費用額は年々増加しているものの、被保険者1人1月あたりの費用額でみると、全国・千葉県と比較し低い状況です。

参考：令和6年10月末時点 全国 1487番目/1573保険者

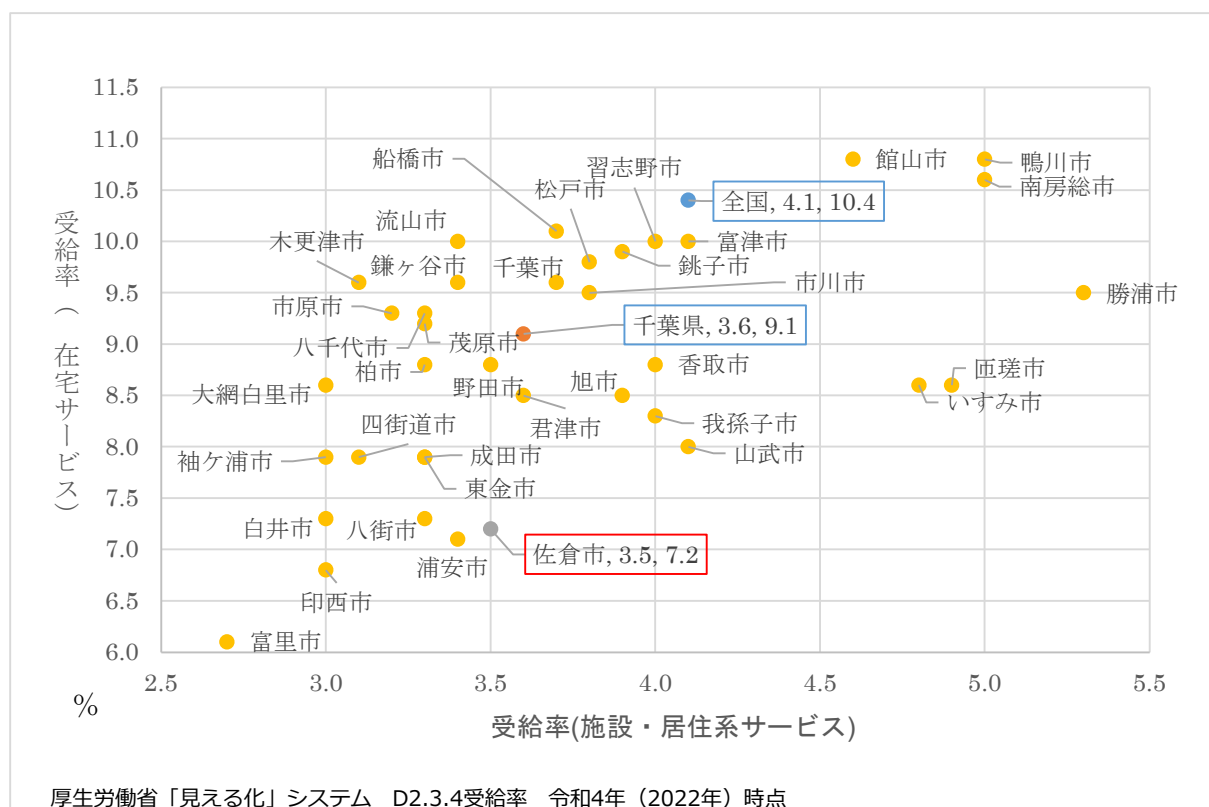
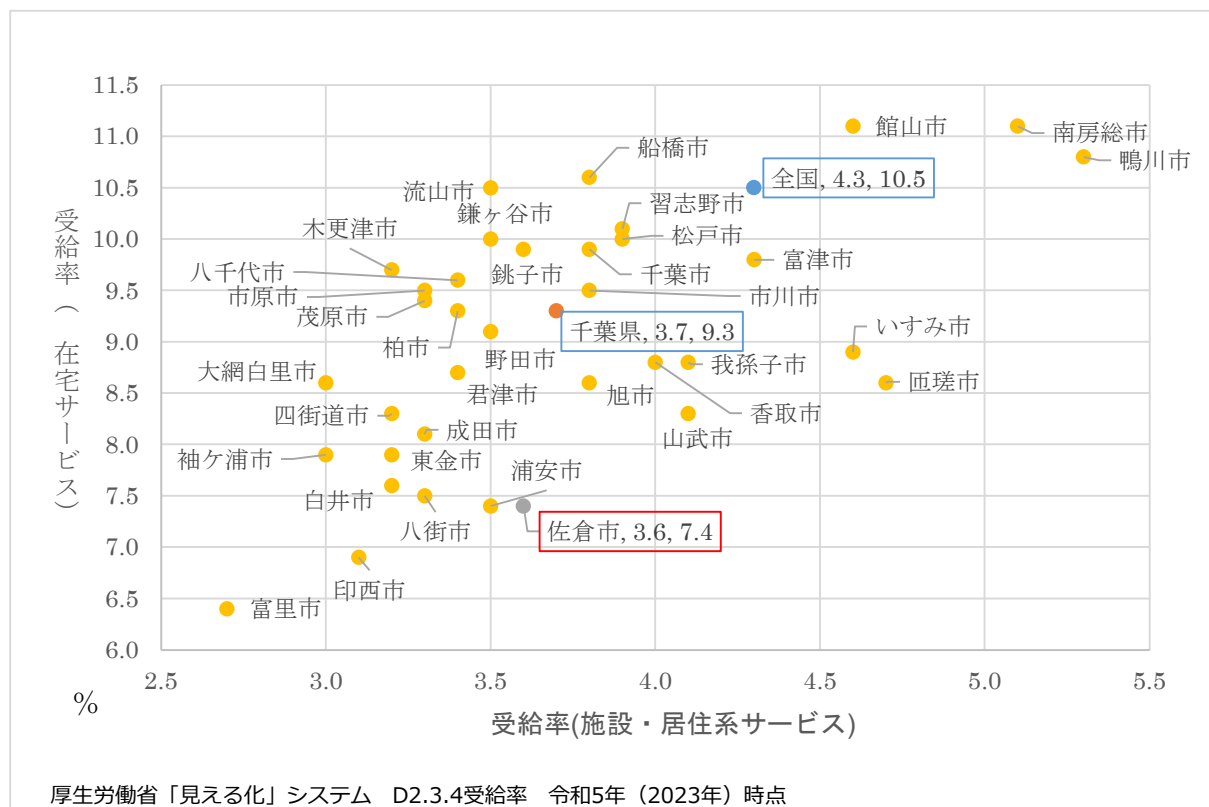
千葉県内 47番目/ 54保険者

認定率の低さが影響しているものと推測されます。

4. 受給者、定員

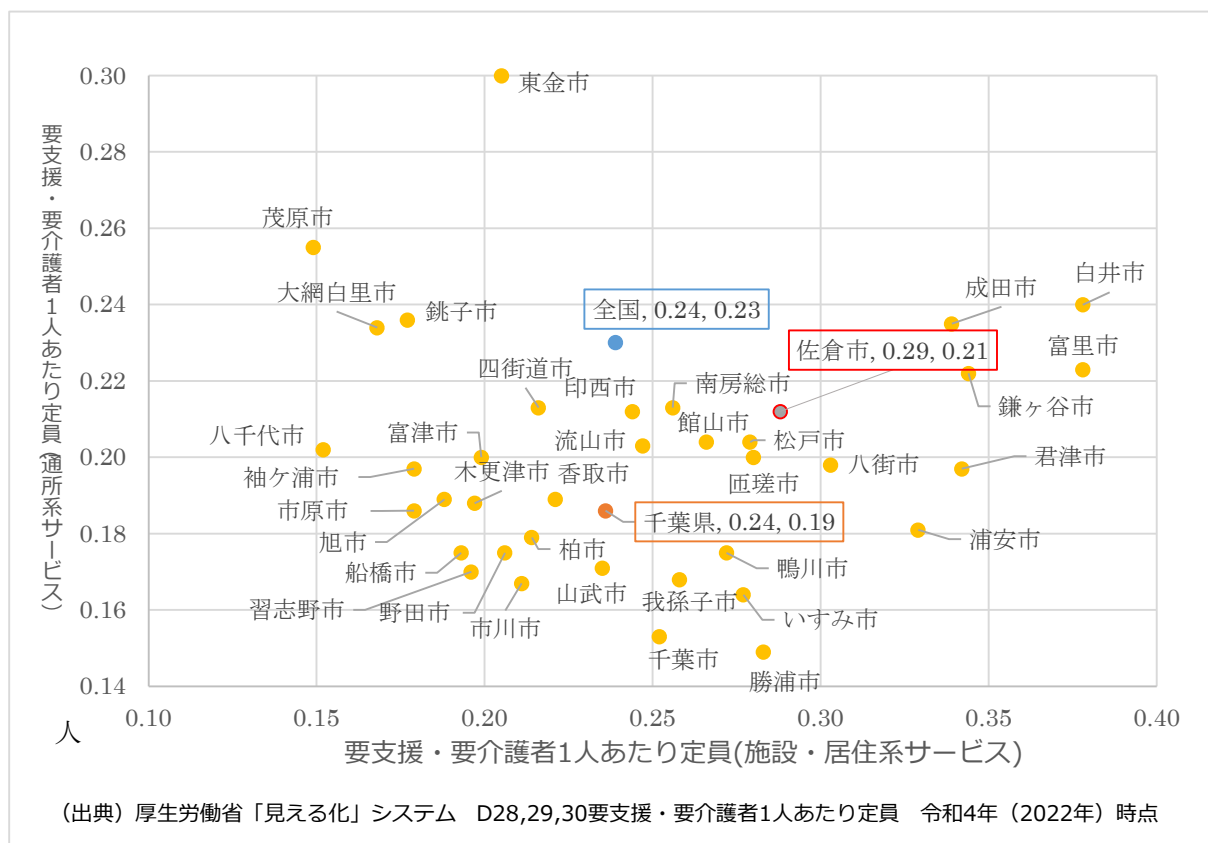
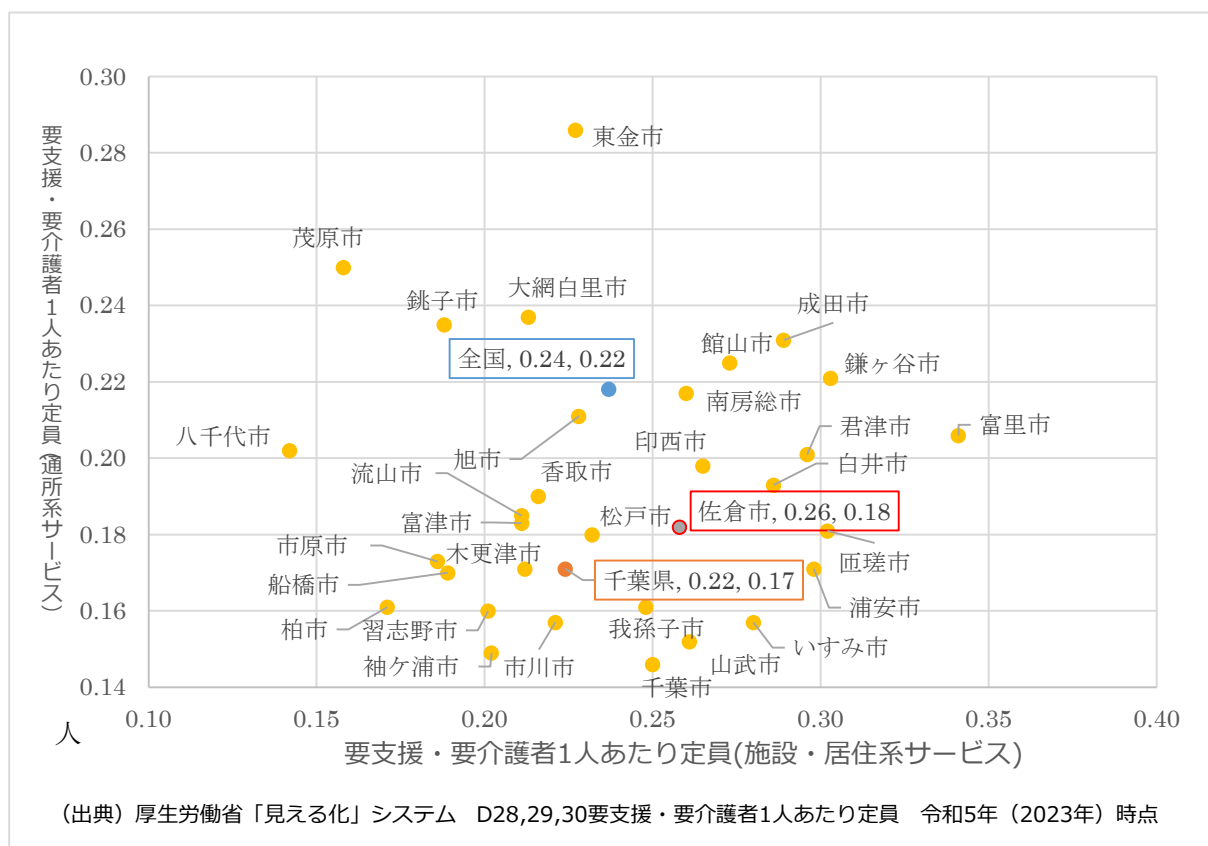
①在宅サービス及び施設・居住系サービスの受給率

サービスの受給者数を第1号被保険者数で除した値です。



②要支援・要介護者1人あたりの定員

施設・居住系サービス、通所系サービスの定員を要支援・要介護者数で除した値です。要支援・要介護者に対するサービスの提供可能性を比較することができます。



➤ 通所系サービスとは・・・

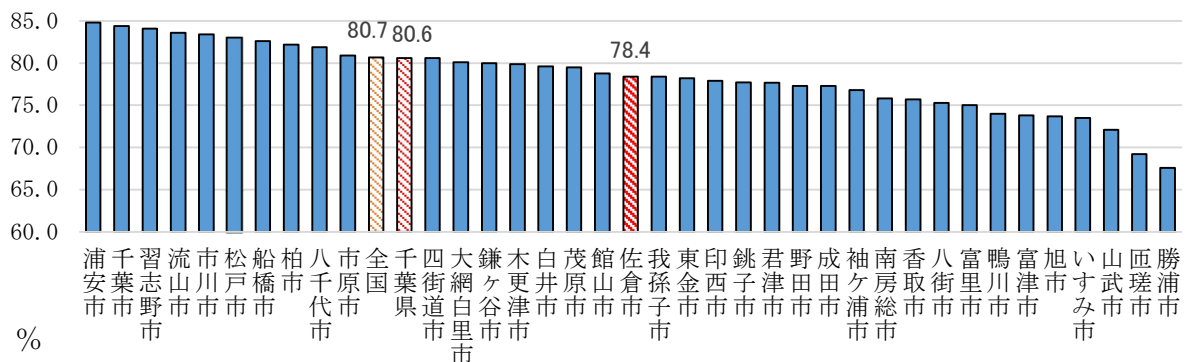
通所介護、通所リハビリテーション、地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護
小規模多機能型居宅介護（宿泊＋通い）、看護小規模多機能型居宅介護（宿泊＋通い）

③在宅・居住系サービス利用割合

「在宅・居住系サービス利用者割合」は、それと「施設サービス」の利用者数の総和に対する、「在宅および居住系サービス」の利用者数を意味します。

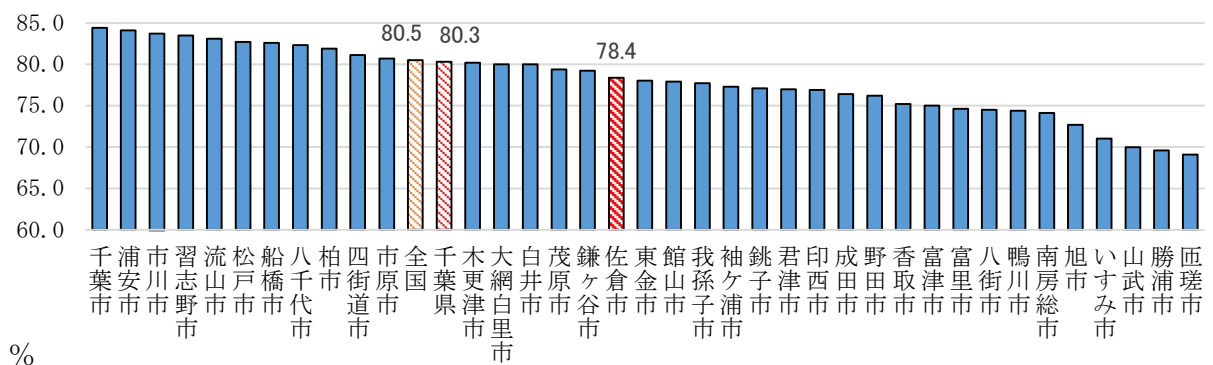
サービス利用者全体に占める在宅・居住系サービスの利用者の割合を要介護度別に比較すると、全国・千葉県と比較して低い傾向にあり、37 市中 18 番目に位置していますが、印旛圏域内見ると高い状況となっています。

	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
佐倉市 (%)	96.2	92.0	71.2	54.0	47.4	78.4
千葉県 (%)	97.0	93.4	70.6	55.6	52.2	80.6
全国 (%)	95.9	92.2	70.6	54.1	49.9	80.7



出典：厚生労働省「見える化」システム D-38. 在宅・居住系サービス利用者割合 令和5年（2023年）時点

	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
佐倉市 (%)	96.4	91.3	70.1	53.0	47.8	78.4
千葉県 (%)	96.8	93.1	69.9	55.8	52.3	80.3
全国 (%)	95.8	92.0	70.6	54.2	49.4	80.5



出典：厚生労働省「見える化」システム D-38. 在宅・居住系サービス利用者割合 令和4年（2022年）時点

考察

佐倉市のサービス受給率は、在宅系サービス、施設系・居住系サービスともに全国、千葉県平均を下回っています。特に、在宅系サービス受給率は県内でも低い状況です。

要支援・要介護者 1 人あたりの定員は、通所系サービスでは千葉県平均を、施設系・居住系サービスでは全国平均、千葉県平均を上回っています。

サービス受給率が低い一方、要支援・要介護者 1 人あたりの定員は県内でも高い水準にあるため、現時点ではサービス利用ニーズに応えやすい状況であると考えられます。

しかしながら、サービス受給率は年々増加しており、在宅サービスの種類が不足している現状もあることから、今後も各サービスの利用ニーズを的確に把握し、提供体制を確保していく必要があります。

5. 給付

受給者 1 人あたり給付月額

活用データ名・ 指標名	指標 ID	単位	データの値								
			佐倉市			千葉県平均			全国平均		
			R3	R4	R5	R3	R4	R5	R3	R4	R5
在宅および居住系サービス	D15-a	円	128,537	129,739	133,672	130,160	130,274	133,817	130,299	130,071	132,661
在宅サービス	D15-b	円	118,265	119,251	122,831	119,496	119,451	122,927	119,152	118,718	121,225
訪問介護	D17-a	円	79,914	79,852	78,864	77,721	77,961	81,350	75,248	76,920	80,033
訪問入浴介護	D17-b	円	66,602	63,050	63,624	62,955	62,079	63,299	62,640	61,810	63,050
訪問看護	D17-c	円	42,138	42,071	43,018	41,215	41,756	42,501	41,446	41,295	41,639
訪問リハビリ	D17-d	円	45,587	45,203	45,848	36,047	36,136	36,984	34,160	33,674	34,290
居宅療養管理指導	D17-e	円	11,612	11,982	12,252	12,228	12,469	12,832	12,220	12,382	12,797
通所介護	D17-f	円	85,185	84,983	88,353	80,350	78,894	80,893	84,961	83,257	84,468
通所リハビリ	D17-g	円	88,264	85,842	90,206	60,128	58,745	59,697	59,650	58,136	58,919
短期入所生活介護	D17-h	円	108,515	113,089	110,783	128,845	127,033	124,597	109,768	108,557	106,700
短期入所療養介護	D17-i	円	93,135	92,528	82,926	96,213	96,636	97,692	92,181	91,341	90,321
福祉用具貸与	D17-j	円	12,682	13,030	13,250	13,066	13,300	13,446	11,778	11,966	12,126
特定施設入居者生活介護	D17-k	円	169,716	170,579	179,993	185,772	188,491	193,004	181,730	184,041	187,186
介護予防支援・居宅介護支援	D17-l	円	12,381	12,805	13,039	13,496	13,640	13,748	13,051	13,138	13,148
定期巡回・随時対応型訪問看護介護	D17-m	円	149,757	165,866	171,670	170,693	176,016	177,452	161,597	166,008	168,947
夜間対応型訪問介護	D17-n	円	0	0	32,230	22,731	24,758	25,203	37,505	38,815	39,394
認知症対応型通所介護	D17-o	円	131,322	136,495	136,574	117,711	116,946	118,696	117,876	116,352	117,998
小規模多機能型居宅介護	D17-p	円	167,138	190,164	158,823	194,426	199,199	203,401	188,920	191,607	193,706
認知症対応型共同生活介護	D17-q	円	249,676	262,921	270,475	261,999	264,280	269,109	258,748	260,639	264,722
地域密着型特定施設入居者生活介護	D17-r	円	204,956	209,551	211,012	202,797	205,656	210,280	198,284	198,574	200,515
看護小規模多機能型居宅介護	D17-s	円	296,671	264,913	355,971	272,026	275,061	286,963	257,480	260,420	264,162
地域密着型通所介護	D17-t	円	88,765	84,616	79,888	75,291	72,997	72,041	76,704	74,762	74,616
			R3	R4	R5	R3	R4	R5	R3	R4	R5

出典：厚生労働省「見える化」システム D-17. 受給者 1 人あたりの給付月額 令和 5 年（2023 年）時点

考察

受給者1人あたり給付月額はいくつに年々増加傾向にあり、在宅サービスのうち訪問及び通所系サービスでは千葉県平均・全国平均を上回っております。中でも訪問リハビリ・通所リハビリは、千葉県平均・全国平均を大きく上回っており、機能向上訓練（リハビリ）の利用が多いものと考察します。

認知症対応型の通所介護・共同生活介護が、ここ数年増加が続いており、認知症対応型のサービスのニーズが高まっていることがうかがえます。

また、在宅生活の継続を支援するために、定期巡回・随時対応型訪問介護看護や、通所・訪問・宿泊サービスを組み合わせて提供する小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護や夜間対応型訪問介護の利用も増加傾向にあることから、これらの事業所の整備を引き続き検討していく必要があります。